



三条北ロータリークラブ週報

**ロータリーを高めよ、
思いを尽くし、熱意を尽くし!!**

国際ロータリー会長 パウロ V. C. コスタ 第256地区ガバナー 原 猛

例 会 日
1991. 3 . 12
累 計 No 210
当 年 No 34

会 長／今 井 克 義

幹 事／本 間 茂 男

S A A／堀 川 正 幸

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 新会員卓話「わが生立ち」梨木建夫君

出 席： 本日の出席 51名中41名

先週の出席率 51名中46名 88.24%

先週のメイクアップ： 3月4日 新潟北RCへ 山上茂夫君

6日 三条RCへ 内藤 修君

8日 吉田RCへ 大野新吉君

8日 新潟東RCへ 中條耕二君

11日 三条南RCへ 山口龍二君 加藤 実君 山上茂夫君

ビ ジ タ ー： 東京・小石川RCより 白倉昌夫君

三条RCより 池田千秋君 五十嵐晋三君 外山雅也君 広岡豊作君

大谷幸平君

三条南RCより 丸田肇一君 吉井正孝君

会 長 挨 拶： 今井克義

1月15日でしたか、戦争が勃発したその時に新聞に載っていました川柳、この席でも御紹介しましたが“こんなにもいたのか軍事評論家”。先日、戦争が終わった次の日にまたまた傑作が載っていました。“湾岸戦争終結、これで失業か軍事評論家”。失業であろうと廃業であろうと、とにかく戦争が一応終わったということは嬉しいことです。ただこれからいろいろな分野での戦後処理、関係各国の利害関係が絡んで大変らしいですね。あるいは、これからが本当の戦いののかも知れません。最も関心があることの1つがサダム・フセインの処遇です。野次馬的発想から言えばさっさと銃殺してしまえばと思うのですが…。さて、この湾岸戦争に関連して、原猛ガバナーから各クラブ宛に「湾岸戦争にともなう難民救済募金」というお願いの文章が届きました。「湾岸戦争の戦中、戦後を通じて起こる、また起こるであろう人命の喪失、自然環境の破壊や災害に対して深く憂慮するとともに、心から平和の到来を祈念するものであります。われわれのこの願いと善意を表す

ようにしました。今、私は健康で生きている有難さを感謝して居ります。人間誰もがその健康を各自自分のやりたい仕事に全力を尽くす事こそホントの生き甲斐ではなかろうかと今、改めて本当の人生はこれからなんだと思っております。私ども水商売ではありますが「健康志向が高まっている中、酒類は飲み方さえ間違えなければ、緊張を解きほぐし体にも心にも良い」といふ信念の基、アルコールを提供し、良い店づくりに皆様に愛される店づくりに励んでおります。「継続は力なり」と申します。今後共、末永く皆様方の御指導を得ておこがましいようですが、微力ながら少しでも社会への貢献の一員になればと心がけております。皆様のお仲間に加えていただく事で異業種交流による新しい発想、横社会の中で町づくりや地域の活性化に役立つ事業を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。最後にとりよめの話を貴重な時間をさいて聞いていただきありがとうございました。失礼いたしました。

リャンさんの料理教室を開催して： 羽賀芙美子様

先日の料理講習に本当に大勢の皆様のご参加大変ありがとうございました。皆様にご満足していただけたか不安がありましたが、一人一人の笑顔と明るい声、とてもいいムードに支えられ、“ほっ”うれしい。(親睦委員長の妻として少しは役目、果たしたかしら)と、言いだしっぺは少し安堵いたしました。と言っても前日は今井さん、吉川さん、佐藤さん達とで買い物やら計算やら協力願ったおかげです。献立は①糖醋丸子(肉団子)②シャオチェズ(焼茄子)それにこちらの要望で③中華風サラダ④カニ玉スープを加えての4品。それに和風つけもの、ミカン、コーヒーと何風かわからないような一応フルコースが出来たのも、多数の参加者のおかげです。4,000円残りましたので、ニコニコボックスに2,000円、ロータリー財団に2,000円入れさせて頂きました。ところで料理の味はいかがでしたか?珍しい中華風サラダなどかなり好評のようでしたね。ポイントとして焼茄子の時は茄子を片栗粉で揚げる。サラダには白菜とひき肉を入れる、卵の白身の出し方等1つ2つお役に立ったでしょうか?主婦としてはプロの方ばかりで活気があふれる。でもつい自己流になりそう。「おっと、先生の説明を聞かなきゃ」と笑い声も聞こえます。先生が「調味料はこのくらい」と“ポンポン”と適当に入れて「このような味にして下さい」とおっしゃる。順番になめてみる。そのときの皆の顔のなんとチャーミングなこと。そして楽しい食事タイム。もうあっという間に1時になってしまいました。ゆっくり食事の時間がとれなかったのが少し心残りでした。婦人だけの会もなかなか良いものだと思います。次回の集まりが待ち遠しくなるような、そんなコミュニケーションとれたでしょうか?

3月19日例会： 外部卓話 整形外科武藤先生「廃用症候群について」

3月26日例会： ビデオ卓話「越後三条良寛のみち」

しるしとして、2月23日の記念すべき日を期して次のような方法でロータリアンよりの拠金を行い、これを4月末までにまとめて、国連の機関を通じて難民救済の資金にあてます。1人2,000円程度を地区ごとに集め、全国集計して国連難民高等弁務官事務所を通じて難民救済の資金にあてます。以上でございますが、何卒一人でも多くの会員の皆様に本主旨をお伝え下さり、ご理解賜りますよう重ねてお願い申し上げます」と、いうことです。これからBOXを回しますのでどうぞ宜しくお願いします。5月11日（土）、12日（日）に予定しています「三条ミュージックキャンプ&選抜バンドコンサート」。今、社会奉仕委員長の丸山さんを中心に準備が進んでいます。3月中に、細かいプログラム、日程などが決まることになっています。それに向けて今、皆様方にはニコニコBOXで資金の為に協力していただいているところですが、当日は御夫人方を含めて労力奉仕も願うことになります。6日（水）の中国人留学生のリャン先生の料理教室に20名近くの御夫人達より参加していただきました。楽しい一時だったと聞いております。次回の週報に羽賀親睦委員長の奥様から経過報告をかねて、その時の模様をお書きいただくことになっています。楽しみにしています。

幹 事 報 告： 本間茂男

◇1991～92年度クラブ会長エレクト研修セミナーのご案内

日 時 4月28日（日）11:00～16:30

会 場 ソシアルプラザふじや会館

◇三条クリーン協議会より

第一回担当者会議のご案内

日 時 3月15日（金）12:00～

会 場 三条商工会議所 2F

平成3年度定時総会のご案内

日 時 3月18日（月）総 会 19:00～20:00

懇親会 20:00～

会 場 越前屋ホテル

ニコニコボックス：

吉井正孝君（三条南RC）南RC入会以来、メイキャップはもっぱら「北さん」に伺っています。本日はBOXに協力して!!

今井克義君 梨木さんの卓話期待しています。

大野新吉君 昨日、娘の鈴子を嫁がせました。嫁いでも毎日会社に来るので実感がわきませんでした。新婦父からの歌をせがまれ「娘を」歌い出したら声が出ず、歌にならなくなりました。

料理教室参加者一同 梁さんの料理教室の成功に感謝して。

鈴木英友君 早く暖かくなるように。

して当時100円均一で飲み物から食べ物まで同一料金で提供しましたところ、爆発的にお客様の好評を得ました。お客様の過半数以上は女性で、しかも若かったのが必然的に男性のお客様も多数いらっしゃいました。また、スタッフも男性だけでしたので経費の面からも人件費は比較的安く上がったのではないかと思います。その後、料理屋であった座敷を解体しテナント数15件の紅梅ビルを設立、自分では若干年をとったので「ヤング」は一応卒業ということで「魅惑の指定席レオナ」を開店した次第です。レオナは依然として客数の過半数が女性でしたので、今度は女性だけのスタッフの小さな「ピュアゆい」を開店しました。そして旧三条病院隣に「ジャパニーズレストラン和」もテナントとして開店させていただきました。機会がございましたらぜひ御利用下さい。少しコマmercialも入させていただきました。恐縮です。さて皆様はレオナのライオンが盗まれたという記事を三条新聞さん等で読まれた方もいらっしゃると思いますが、その結末はどうなったかを知りたいと思っておられるのでしょうか。実は犯人は検挙されていたのです。前科数犯という暴力団の手下と申しますかチンピラだったのです。当時、私は社交飲食組合の組合長もやっておったのですが、それと平行し三条防犯連合組合というのがあってその防犯連合組合の副組合長も兼任しておったのです。警察署よりのご指導で、暴力排除運動を宣言する文を大勢の組合員の前で代表して読んでも所をかなり大きくこれまた三条新聞さんで写真掲載されました。その事で多分ねたんでのいやがらせの結末でした。まったく迷惑千ばんでした。迷惑と言えば私は人生最大の危機を5年前に与えられました。全くこれまでは健康には絶対の自信を持っていたのですが少し体がダルいかなんて思いその年の12月、1月は忙しいので2月のヒマになったら人間ドッグでもいってみようと軽い気持ちで某病院に行って健康診断を受けにいったのです。例によって胃カメラ、レントゲン、血液検査等を受けて二週間後に結果が出るとの事でした。その結果胃に何かがあり出血しているとの事で念の為胃の細胞も検査しておきたいと言われ、また胃カメラといっしょに細胞を採取して検査していただいた所、その結果私はいよいよ位だったら絶対に入院しないで通院で直してもらおうなんて思っておったのですが、先生が言われるには早く手術しなければとおっしゃいました。「エッ」といって私は一瞬変な予感がしたのですがその先生がおっしゃるには「1から5まであります。1がかいようで5がガンだとすると貴方の細胞は4.5の数値です。ですからすぐ手術をなさった方が絶対よろしいですよ」と驚かされました。それから一週間後に胃を $\frac{2}{3}$ とりました。普通の胃かいようですと順調にいて2週間位で退院できると聞いておったのですが、私は2か月も入院するハメになりました。私はその時そのショックと今まで張りつめていたものがプツンと切れたような思いで何か無気力になっておりましたが、その時の入院患者さんの中には胃をとったばかりなのにまた片肺を切除したという60才位の方にお会いしたのですが、ものすごく元気が良いので驚かされました。また他の患者の方々も年老いた方が一応に生きる事への執着心とでもいうような生命力のすごさを見せられました。私などあの方々に比べたらまだまだヒヨッコなのに何をにショゲているのだと、もっと元気を出せと励まされた思いです。ですから私は貴重な体験をしたものだ、人によっては病気をした不運を嘆くかも知れないが逆の発想で早期発見は幸運だったしハッピーであると思う